

(様式4)

件名：	中原中也記念館開館30周年記念事業について
担当課：	交流創造部文化交流課文化交流担当(電話:083-934-2717 内線:3374)

文学史上に大きな足跡を残した近代詩人・中原中也の生家跡に建つ中原中也記念館は、令和6年2月18日に開館30周年を迎えます。

この間、中原中也記念館では、中也の遺稿や遺品、中也に関わりのある近代文学関係資料の収集、保存、研究を進め、展示や企画事業などを通じてさまざまな角度から中原中也に光をあてることで中也の詩とその世界を広く全国に発信するとともに、中也研究の活動拠点としての役割を担ってきました。

また、新鮮な感覚を備えた優れた現代詩の詩集を称える「中原中也賞」(平成7年度創設)歴代受賞者の活躍や、中也の詩の愛好者、研究者たちが集う「中原中也の会」(平成8年9月発足)の活動とともに、記念館の30年の歴史が刻まれてきました。

開館30周年を迎え、中也の故里である本市の皆さまに、中原中也の魅力をもっと感じていただき、中原中也記念館を目的として全国から多くの方に本市にお越しいただけるよう、さまざまな記念事業を実施します。



【開館30周年記念事業】

■ オリジナルデザインのクリアファイルプレゼント

第21回テーマ展示「空の歌」がオープンする2月15日(木)から、記念事業がスタートします。そのスタートを切って、来館された方へ、30周年ロゴや中也の詩を印刷した A5 サイズの「クリアファイル」を先着1,000名にプレゼントします。

■ 「来館ポイントカード」の配布

30周年の期間中にある5つの展示企画では、展示ごとに異なる中也の魅力をお楽しみいただくため、「来館ポイントカード」の配布を2月15日(木)から開始します。各展示会期中の来館時にポイントを付与(スタンプ)し、ポイント数(来館回数)に応じた記念館オリジナルグッズをプレゼントします。



■ 「Tシャツデザインコンテスト」入賞作品の発表

中也の詩に関心を持っていただくとともに、開館30周年の機運を盛り上げるための参加企画として実施した「Tシャツデザインコンテスト」では、全国から461作品の応募がありました(募集期間:令和5年8~10月、テーマ「中也の詩」)。開館記念日である2月18日(日)に、入賞作品(最優秀賞、優秀賞、佳作)を発表するとともに、4月からの販売に向けて商品化を進めます。



以上のほか、展示やイベントなど、さまざまな企画を展開していきます。
主な企画は次のとおりです。

講演、ワークショップ

公開講演「中原中也をはじめとする詩人たちの短歌」

2月18日(日) 14:00～15:00／湯田温泉ユウベルホテル松政

講師:穂村 弘 (歌人)



中原中也の出発点であった短歌にふれていただくため、中原中也賞選考委員で歌人の穂村弘さんをお招きして、中也だけでなく、詩人たちの書いた短歌に注目し、お話しいたします。

創作ワークショップ「1首づくり終わるまで出られない短歌教室」

3月9日(土) 13:00～15:00／山口情報芸術センター[YCAM]

講師:木下 龍也 (歌人)



1首 五・七・五・七・七 31文字の短歌をつくってみるワークショップ。令和5年度山口県芸術文化振興奨励賞を受賞した歌人の木下龍也さんと一緒に、言葉や自分自身とじっくり向き合うことができる短歌教室です。

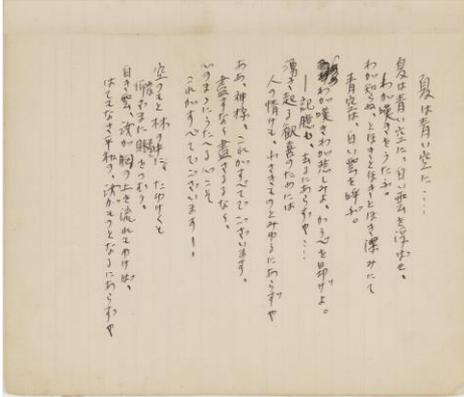
写真 ノザワトシアキ

*このほか、令和6年度にも2回程度の講演会を予定しています。

展示 (来館ポイント対象展示)

第21回テーマ展示「空の歌」

2月15日(木)→令和7年2月11日(火・祝)／中原中也記念館

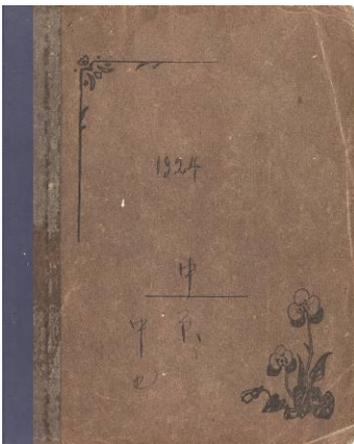


「夏は青い空に……」(「ノート小年時」より)

中原中也の詩の中には、「空」が多く登場します。中也は自然現象に自らの心情を重ねて表現することが多く、「空」は詩的なイマジネーションの源でもありました。また、空に向けて自らの思いを懺悔したり、神を呼んだり、中也にとって「空」とは、人知を超えた、崇高なものの象徴でした。本展では、中也の詩の重要なモチーフである「空」について、様々な視点から紹介します。

企画展Ⅰ「ダダイスト中也のノート」(予定)

4月17日(水)→7月28日(日)／中原中也記念館



「ノート1924」表紙

16歳の中也が京都の古本屋で手に取ったのが、高橋新吉の詩集『ダダイスト新吉の詩』です。ダダの詩に魅了された中也は、「ダダイスト中也」を名乗り、詩をノートに綴るようになります。そのうちの1冊である「ノート1924」が、使用開始から100年を迎えたのを記念し、影響を受けたダダイズム、当時の中也の暮らしぶりなどの紹介を通じて、中也の詩人としての始まりの姿を追います。

特別企画展「中也とランボー、ヴェルレーヌ」(予定)

8月1日(木)→9月23日(月・祝)／中原中也記念館



『ランボオ詩集』

中原中也に大きな影響を与えたフランス象徴派の詩人、アルチュール・ランボーとポール・ヴェルレーヌ。中也は17歳のときに彼らの詩に出会い、魅了され続けました。その影響が中也の作品にどのように息づいているのか、また、日本のランボー受容史において輝きを放つ中也の翻訳の魅力に迫ることで、現代においても読み継がれる3人の詩の世界を紹介します。

企画展Ⅱ(前期)「浅田弘幸展—『眠兔』と中也、そして新作絵本」(予定)
8月1日(木)→9月23日(日)／中原中也記念館



© Hiroyuki Asada

『I' II～アイル～』『テガミバチ』(集英社)などの作品で知られる漫画家の浅田弘幸は、初期の代表作『眠兔』(集英社)を始め、中原中也の作品や人生に啓発された作品を数多く制作してきました。本展では、中也の詩をテーマにした絵本の出版を記念し、Ⅰ期は『眠兔』など中也に関連した作品を中心に、Ⅱ期は刊行予定の新作絵本を中心に、浅田の画業を紹介します。

企画展Ⅱ(後期)「原田和明のオートマタと中原中也」(予定)
令和7年1月29日(水)→4月13日(日)／中原中也記念館



原田和明『山羊の歌』

山口市在住のオートマタ(自動機械)作家・原田和明。これまでも、酒瓶を持った中也がコミカルな動きを見せる「或る中也」や、中也の詩情を月まで届けるゲーム「ゆあーん ゆよーん 月旅行」など、中也の人物像や詩から発想した作品を制作してきました。本展では、中也をモチーフとした新作を始め、多様な作品を展示し、観る人を楽しませる独創的な作品世界を紹介します。

*このほか、展示関連イベントとして、ワークショップやトークイベント、展示担当職員によるプロムナードトーク(展示解説)などを予定しています。

イベント

中原中也生誕祭「空の下の朗読会」(予定)

4月29日(月・祝)／中原中也記念館前庭

[第一部] 朗読会

[第二部] ミニライブ 出演:深川和美(歌手)、谷川賢作(ピアニスト)

記念館開館時から続く生誕祭として、詩の朗読を好んだ中也にならい、一般の方々に自作や愛読の詩を朗読していただきます。また、歌手の深川和美さんとピアニストの谷川賢作さんのデュオによるミニライブをお楽しみいただきます。

ジェフリー・アングルス 訳 中原中也詩集をめぐるトーク(予定)

5～6月頃／会場未定

講師:ジェフリー・アングルス (詩人、西ミシガン大学教授)

開館20周年記念事業の「英訳パネルディスカッション」に参加し、その後も中也の詩の翻訳に取り組んでいるジェフリー・アングルスさんをお招きしたトークを行います。

*このほか、中也の命日10月22日の前後に墓前祭を含む追悼イベント「中也忌」を開催予定です。

教育企画

中学生向けデジタル版副読本の制作

令和5年度～令和6年度

開館20周年記念事業で制作・配布した中学生向け副読本「出会い? 発見?! 感動!! 中也読本」(冊子版)について、市教育委員会と学校現場の協力を得てデジタル版にリメイクします。

教育現場向け動画の制作 (予定)

令和6年度

中也の生涯や代表作などを紹介する教育現場向け(通常授業・出前授業用)動画コンテンツを制作し、デジタル版副読本との一体的活用や館内子ども向け活用を図ります。

施設機能の充実、その他

収蔵資料のデジタル化

令和5年度～令和6年度

国文学研究資料館(東京)との連携による中原中也一次資料(直筆資料、遺品等)のデジタル化・インターネット公開(令和4年度)の成果を受け継ぎ、中也について言及し当時の中也を知る関係者の日記や手帳、中也の署名本などをデジタル化。館内検索システムにも順次反映するなど、中也研究に寄与していきます。

開館30周年オリジナルグッズの制作・販売

令和5年度～令和6年度

Tシャツデザインコンテスト最優秀賞デザインをプリントしたTシャツのほか、市内の日本茶専門店とのコラボによるオリジナルブレンドの日本茶、展示関連グッズなど、さまざまなオリジナルグッズを展開していきます。

*このほか、子ども向けの企画として、親子で楽しみながら中也にふれることができるコーナーを、館内や公式ウェブサイトにて設ける予定です。

【開館30周年記念ロゴ】

日本語 ver



英語 ver



このたび、開館30周年記念を象徴するロゴを制作しました。

よく知られている「帽子をかぶった18歳頃の中也」と開館30周年の「30」を組み合わせ、マーク部分を見ただけでも分かり、親しみやすくポップなテイストでデザイン化したものです。

年間カレンダー、展示やイベントのポスターやチラシなどの広報をはじめ、記念グッズへの展開など、さまざまな形で開館30周年を周知していきます。

【30年の歩み】

平成 4(1992)年 3 月	生家跡に中原記念館を建設することが決定
平成 4(1992)年 4 月～9 月	全国公開設計協議を実施、応募総数479件の中から宮崎浩氏(プランツアソシエイツ)を最優秀賞に選定
平成 6(1994)年 1 月	館長に福田百合子が就任
平成 6(1994)年 2 月 18 日	中原中也記念館開館
平成 8(1996)年 3 月	機関誌「中原中也研究」創刊号発行
平成 8(1996)年 4 月	財団法人山口市文化振興財団が管理運営
平成 8(1996)年 9 月	中原中也の会発足、創立記念大会開催
平成 9(1997)年 2 月	県道側に前庭拡張、分館建設工事完成
平成 10(1998)年 11 月	公共建築百選に選定
平成 15(2003)年 3 月	新収蔵庫建設工事完成
平成 16(2004)年 2 月	展示リニューアル工事完成
平成 19(2007)年 4 月 ～平成 20(2008)年 3 月	中原中也生誕百年記念事業開催
平成 20(2008)年 9 月	入館者50万人達成
平成 21(2009)年 4 月	館長に中原豊、名誉館長に福田百合子が就任
平成 26(2014)年 1 月	施設・設備リニューアル工事完成
平成 26(2014)年 2 月 ～平成 27(2015)年 3 月	開館20周年記念事業開催
平成 27(2015)年 4 月	18 歳以下の入館料無料化
平成 29(2017)年 2 月 ～平成 30(2018)年 2 月	中原中也生誕110年記念事業開催
令和 5(2023)年 9 月	入館者80万人達成
令和 6(2024)年 2 月 ～令和 7(2025)年 2 月	開館30周年記念事業開催